

忠清南道  
全羅北道

錦江水系  
下流地方

第五號土地改良地區計畫書

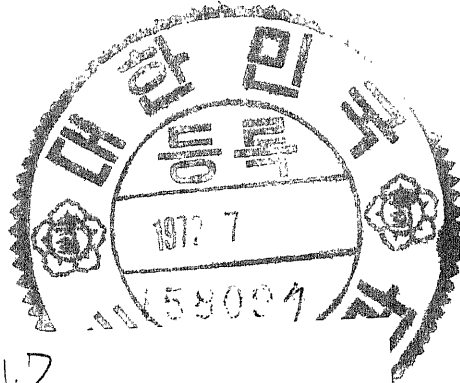
朝鮮總督府

11-0-5

국회도서관



00158097



631.7  
 청구번호 Z538.22 V.4  
 등록번호 158097  
 저자명 朝鮮總督府  
 서명 土地改革地區計畫書

請番 158097 登番  
 求號 錄號

著者

書名

國會圖書館

# 第五號土地改良地區

## 一 現況

### 1 位置地勢土質

位置 本地區는 羅北道益山郡聖善面院洞是續地  
 里麻田黑礪山面牛倉里院洞內有石炭石三箇五箇並  
 二跨り鑄山邑ヲ南ニ距ル三里餘江原川ノ支流松花川  
 (假差沿麓一帯ノ耕地ヲ包容ス  
 地勢 松花川ノ西麓ニ沿ルテ地形ヲナシ  
 東南西ノ三面ハ擔勒山天靈山一帯ノ山岳丘陵ニ圍  
 繞セラレ北ハ江景平野ニ連ル  
 地勢概シテ急傾斜ニシテ上流部麻田里地方ノ耕地  
 八東南ヨリ西北ニ約百四十分ノ一ノ傾斜ヲナス也

下流部ニ至ルニ從ヒテ漸次緩傾斜トナリ望城面内  
村里地方ハ其ノ勾配南ヨリ北ニ約八百分ノ一内外  
ナリ

又一般ニ両山麓ヨリ松花川ニ向ヒ上流部ハ約百分  
乃至二百五十分ノ一下流部ハ約八百分ノ一ノ傾斜  
シナシ其ノ標高二十尺ヨリ百五尺ニ及ブ

土質 本地方ノ母岩ハ一般ニ雅尾麻岩糸ニ屬シ處  
々ニ其ノ露出セルモノナルヲ見ル土壤ハ表土一般  
ニ埴質壤土ニシテ深サ一尺内外心土ハ埴土ナリ尺  
江景川沿麓ハ處々ニ表土心土共ニ砂質壤土ノ箇所  
ナルモ其ノ面積極メテ小ナリ

只關係河川ノ地區附近ノ狀況

本地區ノ關係ヲ有スルハ江景川及ヒ其ノ支流タル  
松花川(嫩江)トス

江景川

本川ハ其源ヲ益山郡益馬面彌勒山ノ東麓ニ發シ延  
長約三哩ニシテ本地區ニ達シ十餘町ニシテ松花川  
ニ合シ更ニ北流ス

本地區附近ニ於ケル本川ハ其ノ勾配約八百分ノ一  
幅員二十五間内外ニシテ河床ハ概シ硯砂ヨリナレリ

松花川(嫩江)

本川ハ其ノ源ヲ益山郡勵山面天慶山ノ西麓ニ發シ  
延長約一哩ニシテ本地區ニ達シ西北ニ流レテ皇華  
面鳳洞里ニ於テ江景川ニ合ス

上流部ハ勾配約百四十分ノ一ノ急流ニシテ河床至  
トシテ砂礫ヨリナリ幅員天間内外ナリ  
下流部ハ其ノ勾配約七百分ノ一河床概シ細砂ニシ  
テ幅員十間内外ニ達ス  
洪水時ニ際シ其ノ洪水位ハ江景川及ビ松花川ハ何  
レモ沿岸耕地面ヨリ二尺低ク汎濫ノ害ヲ蒙リシユ  
トナシ

八面積

計	其他	畝	地目
二八三	二六	二五七町	面積積
	<p>區道路水路等集計ト六</p>		<p>記 亭</p>

ニ旱水害ノ狀況

旱害 地區内既成箇ハ其ノ面積ニ百五十七町步ナ  
 ルモ從來之ガ導水ノ設備ナク徒ツテ用水ハ凡テ天  
 水ニ依レルヲ以テ被害ノ程度ハ降雨ノ分布如何ニ  
 ヲリテ著シキ差異ナルベキモ各年ノ平均減收率ハ  
 三割七分内外ナリ  
 水害 水害トシテ特ニ記スベキモノナシ  
 左ニ旱害ニ依ル減收率ヲ示セバ次ノ如シ

計	窪城面	礪山面	皇幸面	反當收量		總面積	平均總收量	平年總收量
				平均	平年減收			
一九	二〇	二〇	一八	石	石	一三二町	六三七天	三九六〇石
三〇	三〇	三〇	三〇	石	石	二七	五四〇	八一〇
六一	一〇	一〇	一二	石	石	九八	一九六〇	二九四〇
三七	三三	三三	四〇	町	町	二五七	四八六七	七七一〇



減	減	平均	平均
收	收	年	反
		收	當
		量	收
			量
		三〇石	一・九石
		一二石	〇石
		六・三割弱	〇石

# 本農業状態

(一) 土地利用状况

田	畝	地目	
		面積	一毛作
	一畝	町	種類
	水稻	町	面積
	一畝	町	種類
	一畝	町	面積
	六三	町	種類
	裸麥	町	面積
	小麥	町	種類
	一五	町	面積
	大麥	町	種類
	二	町	面積
	冬作	町	種類
	六三	町	面積
	水稻	町	種類
	一	町	面積
	夏作	町	種類
	石	町	面積
	及產量	町	種類
	及產量	町	面積
<p>記 事</p> <p>土質一般に埴質壤土にして地味中庸          植付時期八月上旬中旬にて收穫八十          月中旬頃より          肥料は基肥として山草百貫内外堆肥甲          貫内外ヲ施シ稀ニ大豆粕ニ枚餘ヲ施          ステ中耕除草一回之ヲ行フ          稲ノ種類ハ高千穂四割一分早神力五          割二分多摩錦三分石組二分割合          麥類ハ十月下旬播種シ翌年六月下旬頃          收穫ス肥料ハ堆肥百五十貫糞尿百          貫内外ヲ施ス          中耕除草二回之ヲ行フ</p>			



農業勞力過不足ノ狀況

本地方一方里當リ農家戸數ハ五百二十六戸ニシテ  
農家一戸當リ耕作反別ハ苗一町一反五畝歩田二反  
七畝歩計一町四反二畝歩ニシテ又全羅北道平均ハ  
苗八反一畝歩田三反三畝歩計一町一反四畝歩ナリ  
而シテ本地方ハ特ニ適當ナル副業ニ近キ事情ニ  
カルト現在ノ粗放ナル耕種法トニ鑑ミ農業勞力ニ  
ハ尙相當ノ餘裕ナルモノト認ム

六 計畫

一 一般計畫

本計畫ハ松花川沿岸耕地ノ用水不足ニ當テ  
十二町歩ノ旱魃ヲ救濟シ其ノ土地ノ利用ヲ増進セ  
シトスルモノニシテ其ノ計畫ノ概要ヲ述ブルハ次  
ノ如シ

灌溉計畫

本地區ノ用水ハ之ヲ貯水池ニ貯ムルヲ以テ  
礪山面臺城里ノ山間ニ其ノ内容積田百廿四町尺ヲ  
有スル臺城池ヲ新設シ其ノ集水區域五百四十五町  
歩ノ疏下水ヲ貯溜シ其ノ貯水池ハ之ヲ第一號用水幹  
線ニ導キ松花川ノ右岸高位部ヲ西北ニ走り僧池里  
附近ニ於テ支線ヲ分岐シタル後西ニ折レ松花川ヲ

潛管ニテ横断シ同川左岸山麓高丘帯ニ沿ヒ北走シ  
延長三千百四十間ニシテ内村里ニ至リ舊水路ニ達  
シ尚之ヲ利用スルコト五百八十間ナリ而シテ其ノ  
灌漑面積ハ二百五十二町歩トス  
排水計畫

地區内ノ悪水ハ舊用水路ニ依リテ江景川及び松花  
川ニ排除スルモノトシ地形上排水路ヲ特設セザル  
コト、セリ

次ニ参考ノ爲メ本事業施行前後ニ於ケル土地ノ地  
目別計畫豫定面積ヲ表示スレバ左ノ如シ

計	其他	畝	地目	事業施行前地目別面積	事業施行後計畫豫定面積
二八三	二六	二五七	田	積	積
二五二		二五二	灌漑改善	積	積
三一	二六	五	地	積	積
				備	考

# 三灌漑計畫

## (一) 用水量

用水量ノ種別	数量	算出方法	記
植付整地用	〇.三五 尺		土質ノ性質ノ壤土又ハ砂質壤土ニシテ地下水比較的ニ淺シ
生育期間ニ於ケル平均所要量	四秒五方尺 〇.〇三一	葉水面蒸發量 〇.〇二二 滲透量 〇.〇一五 有効雨量 〇.〇一六	葉水面蒸發量ノ示ス蒸發量ニ九九天耗ノ一二一倍トス 有効雨量ハ稲作期間降雨量ニ七五六倍ノ〇.五二三五倍トス
最大用水量	四秒五方尺 〇.〇五六	葉水面蒸發量 〇.〇四一 滲透量 〇.〇一五	最大用水量時期ニ於ケル葉水面蒸發量ハ八月十日至八月二十日迄ノ蒸發量ノ示ス蒸發量ノ六五九倍ノ一二五倍トス

### 備考

本計畫ニ用ヒタル蒸發量及ビ降水量ハ自明治四十一年(至大正十三年)十七箇年間ノ全羅北道沃溝郡臨改川崎農場觀測ノ成績トス



(二) 用水来源

1. 新水池 (其一)

新水池名	臺城池
新水池位置	全羅道益山郡礪山面臺城三
集水面積	五四五町
灌溉面積	二七二町
新水池量	四一〇町
灌溉能力	二五二町
記	<p>最大水深 三丈五寸          平均水深 十五尺三寸七分          恒三畝之深 三十八尺五寸中下部          口尺三寸 種管設置場所 關係          二寸 種管設置場所 關係          町尺一四 新水池量中 三寸 控邊四          本集水面積 礪山郡 天宮耕地約          三四町 礪山郡 傾斜比較 的急          大小 礪山郡 礪山郡 分少</p>

〔其ノ二〕

貯水池名	臺城池
堤體ノ構造	土堰堤
最高ノ堤心高	四五五 尺
堤ノ長	一四五 間
造大ノ天中	二 尺
内法ノ外法	二五 三〇 割
容積	五三三 立坪
堰管大ノ徑	一 尺
堰管大ノ長	一九〇 尺
堰管大ノ高	七 尺
餘水吐ノ大	七二 尺
溢流ノ水深	三 尺
記 事	<p>堰ハ土堰堤トシ内法面ニ六級石ヲ外法面ニ筋ヲ施シ中心ニ六粘土層金ヲ挿入ス          堰管ハ鉄管トシ四箇ノ穿孔ヲ設ケ内三箇ハスルイスバルブトシ他一箇ハゲートトシ共ニ巻揚床ルヲトス          伏樋ハ鉄筋三ケリト管トス餘水吐ハ左側山麓鞍部ニ出カス          堰管ニ於テ山麓ヲ離レ耕地ヲ放水路ハ餘水吐ヨリ三ノ八間ノ堰蓋スルニト三ノ一ノ間ニシテ渠流ニ達セシムルモノトシ山麓及耕地急傾斜部ニ六ノ六間ハ石ナキ故練積覆炭及護床ヲ施シ下流部緩傾斜部ハ土質其他ニ鑑ミテ護岸護床ヲ施シ不</p>



八事業年度割

本地区ノ事業ハ之レヲ二箇年ニ完了スル計畫ニシ  
テ其ノ年度割ヲ次ノ如ク定メタリ

事業年度	事業ノ種類	備考
第一年度	一貯水池築造 二其他附属工事	
第二年度	一貯水池築造 二用水路堰蓋 三其他附属工事	

三 事業費

總事業費貳拾參萬五百圓也

(反當灌溉改善九(四)種)

費目	金額	記
一 工事費	一九九五〇〇	
(一) 用水費	一三九一〇〇	
人野水池費	一二一五〇〇	<p>堰堤費 八九一〇〇            堤地雜費 五三二二            通管費 八〇〇〇            餘地及水塔費 二二一〇〇            雜費 二三〇〇</p>
又 幹線水路費	一五六〇〇	<p>土工費 六二五五            潛管費 二九八八            分水閘費 二八五            流込餘水口費 七五〇            落差工費 二四三七            橋梁費 九八三            雜費 一九〇二</p> <p>延長三二六間            二箇所            一箇所            三箇所            十一箇所            六箇所</p>

日、主要支線費	二、〇〇〇	土工費 一、六九五円 延長一、二七〇間 構造物費 三〇五四
(二) 雜工費	三、七〇〇	道路付替費 三、七〇〇円 延長五二〇間
(三) 用地費	三、三六〇	貯水池敷面積 二十八町七反一畝 水路敷面積 五町步
(四) 雜費	一、七〇〇	家屋移轉補償 戸數十一戸
(五) 設計及工事監督費	二、一四〇	
二、事務費	一〇、〇〇〇	
三、豫備費	二、一〇〇	
計	二、三〇、五〇〇	

水收益豫想

既墾地ノ土地改良ニ依ル收益

計	畝	地目	面積	反當增收	總增收高	記	事
二五二	二五二		町	初石 一	初石 二七七二	土地改良施行前反當收量 一九石	
一一	一一					土地改良施行後反當收量 三〇石	
二七七二	二七七二						

事業費ニ對スル收益ノ割合

本事業施行後、收益ハ左表ノ如クニシテ事業施行前  
 四萬七千八百八十圓事業施行後七萬五千六百圓差  
 引收益増加ニ萬七千七百二十圓トナリ之ヲ總事業費  
 貳拾參萬五百圓ニ對比セバ一割二分強ニ相當シ利  
 益少キヲ以テ本事業企畫ニ際シテハ相當考慮シ要  
 ス

土地改良施行前			土地改良施行後		
地目	作物種類	反別	地目	作物種類	反別
計	水稻	二五二畝	計	水稻	二五二畝
		一九石			三〇石
		四七八石			七五六石
		四七八圓			七五六圓
					一〇〇圓
					二七七二圓

備考 本表ニ於ケル畝ノ大麥、小麥、裸麥ハ事業施行前

後ニ於テ其ノ耕作反別及ビ收量ニ差異ナキ故  
 之ヲ計算セズ



ト、土地改良ノ施行力隣接地ニ及ボス影響  
ナシ

